

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島市の人材の育成について (40分)</p> <p>「平成24年度鶴ヶ島市の給与・定員管理等について」という資料の8ページによると鶴ヶ島市の正規職員数は平成24年4月1日現在で426人おります。内訳としては一般行政314人、教育87人で普通会計部門合計で401人、公営企業等会計部門が25人と記載されております。</p> <p>第5次鶴ヶ島市総合計画の施策54には「適正な人事管理と人材の育成」との記載があり、現状や課題、成果指標や主な取組内容を掲げています。</p> <p>鶴ヶ島市に限らず、多くの地方自治体が抱える問題の一つにいびつになっている職員の年齢別構成が挙げられます。バブル経済崩壊後から採用を極端に抑制したために特に35歳以下の層が極端に薄いことが特徴的となっています。</p> <p>超高齢化社会を迎え、さらには多種多様化がますます大きくなっていく市民ニーズに的確に対応するためにも鶴ヶ島市の人材管理や人材育成を長期的視野で考えていくことが重要であると考え、以下質問いたします。</p> <p>(1)これから予想される鶴ヶ島市の大量退職の年度別見込み人数について伺います。</p> <p>(2)新規職員の今後の採用計画について伺います。</p> <p>(3)少人数でもより効率よく業務を執行するための研修とはどのようなものか伺います。</p> <p>(4)職員の中途採用の年齢制限引き上げについての見解を伺います。</p> <p>(5)職員の全体数に拘るだけでなく、適正な組織運営のため年齢別職員数が理想的な比率であることが求められると考えますが市の見解を伺います。</p>	市長